

# 宮古島市第四次集中改革プラン進捗状況

(令和6年度終了時点)

## 【方針：行財政運営体制の確立】

主要項目	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
効率的・機能的な組織体制の構築	4 項目	4 項目	1 項目	0 項目	0 項目
行政のデジタル化とDXの実現	3 項目	3 項目	2 項目	1 項目	1 項目
事務事業の見直し	8 項目	9 項目	6 項目	5 項目	4 項目
民間活力の積極的導入	3 項目	2 項目	2 項目	1 項目	1 項目
定員管理の適正化	1 項目	1 項目	1 項目	1 項目	1 項目
組織力の向上	2 項目	3 項目	2 項目	0 項目	0 項目
合 計	21 項目	22 項目	14 項目	8 項目	7 項目

## 【年度別進捗状況】

進捗区分	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
計画以上	(0%) 0 項目	(5%) 1 項目	(0%) 0 項目	(0%) 0 項目	(0%) 0 項目
計画どおり	(52%) 11 項目	(45%) 10 項目	(0%) 0 項目	(0%) 0 項目	(0%) 0 項目
計画未満	(38%) 8 項目	(32%) 7 項目	(0%) 0 項目	(0%) 0 項目	(0%) 0 項目
未実施	(10%) 2 項目	(18%) 4 項目	(0%) 0 項目	(0%) 0 項目	(0%) 0 項目
終了	(0%) 0 項目	(0%) 0 項目	(0%) 0 項目	(0%) 0 項目	(0%) 0 項目
合 計	(100%) 21 項目	(100%) 22 項目	(0%) 14 項目	(0%) 8 項目	(0%) 7 項目

※ 行財政運営体制の確立は全18項目だが、No. 9については担当課が4課にまたがるため、それぞれ1項目と数えている。

## 【方針：財政の健全化】

主要項目	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
健全な財政運営	3 項目	4 項目	3 項目	2 項目	2 項目
市税等徴収率の向上	1 項目	1 項目	1 項目	1 項目	1 項目
新たな財源の確保	1 項目	2 項目	2 項目	2 項目	1 項目
施設管理の見直し	3 項目	8 項目	8 項目	7 項目	7 項目
合 計	8 項目	15 項目	14 項目	12 項目	11 項目

## 【年度別進捗状況】

進捗区分	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
計画以上	(13%) 1 項目	(0%) 0 項目	(0%) 0 項目	(0%) 0 項目	(0%) 0 項目
計画どおり	(63%) 5 項目	(33%) 5 項目	(0%) 0 項目	(0%) 0 項目	(0%) 0 項目
計画未満	(25%) 2 項目	(53%) 8 項目	(0%) 0 項目	(0%) 0 項目	(0%) 0 項目
未実施	(0%) 0 項目	(13%) 2 項目	(0%) 0 項目	(0%) 0 項目	(0%) 0 項目
終了	(0%) 0 項目	(0%) 0 項目	(0%) 0 項目	(0%) 0 項目	(0%) 0 項目
合 計	(100%) 8 項目	(100%) 15 項目	(0%) 14 項目	(0%) 12 項目	(0%) 11 項目

※ 財政の健全化＝全15項目中、令和5年度の実施計画数は8項目となっている。

宮古島市第四次集中改革プラン実施計画（令和6年度実績） 総括表

【進捗状況】  
 ◎:実績が計画以上、○:実績が計画どおり  
 △:実績が計画未満、×:実績なし、●:終了

方針	No	主要項目	実施目標	担当部署	プラン	実施計画					進捗状況について
						R5	R6	R7	R8	R9	
行財政運営体制の確立	1	効率的・機能的な組織体制の構築	ふるさと納税をはじめ、新たな財源の確保を図るための専任部署設置について、調査・検討します。	総務課	計画	調査・検討	設置の判断	-	-	-	ふるさと納税をはじめとした新たな財源の確保を図るための専任部署設置について、まずはふるさと納税担当を専任とするために令和5年度途中より企画調整課に1名増員を行っている。専任部署の設置の判断については、令和7年度中に取り組む。
					実績	調査・検討	設置の検討				
					進捗状況	△	△				
	2	効率的・機能的な組織体制の構築	行財政改革を強力に推し進めていくため、行財政改革に関する専任部署設置について、調査・検討します。	総務課	計画	調査・検討	設置の判断	-	-	-	令和6年度は行革担当において、定額減税に伴う調整給付業務を担当することになったため、調整の時間等が不足しており、設置の判断には至っていない。
					実績	検討	未実施				
					進捗状況	△	×				
	3	効率的・機能的な組織体制の構築	環境保全、エコアイランド政策を推進するため、環境関係部署の集約を検討します。	総務課	計画	調査・検討	調査・検討集約方針の決定	-	-	-	令和6年度は行革担当において、定額減税に伴う調整給付業務を担当することになったため、調整の時間等が不足したこと、宮古島市が環境省より脱炭素先行地域に指定され、エコアイランド推進課の業務量が増大したことにより、統合の具体的な方針の決定には至っていない。
					実績	検討	未実施				
					進捗状況	△	×				
	4	効率的・機能的な組織体制の構築	職員の労働条件の改善と、業務の効率化を図るため、時差出勤制度の導入を検討します。	総務課	計画	調査・検討	調査・検討試験的導入	導入の可否判断	-	-	具体的にどのような勤務形態が可能かなどの具体的な検討ができていない。令和7年度は国・県及び県内他市から情報収集を行い、制度導入に向けて取り組んでいく。
					実績	未実施	未実施				
					進捗状況	×	×				

宮古島市第四次集中改革プラン実施計画（令和6年度実績） 総括表

【進捗状況】  
 ◎:実績が計画以上、○:実績が計画どおり  
 △:実績が計画未満、×:実績なし、●:終了

方針	No	主要項目	実施目標	担当部署	プラン	実施計画					進捗状況について
						R5	R6	R7	R8	R9	
行財政運営体制の確立	5	行政のデジタル化とDXの実現	文章の要約・校正・翻訳、内部事務や事務事業の企画立案等の補助的手段として活用し、業務の効率化や社会課題の解決に活かすため、生成AIの導入を検討します。	情報政策課	計画	調査・検討	調査・検討	調査・検討 導入の可否判断	-	-	令和6年度においては、生成AIを提供する複数企業の説明会等をうけ各サービスのメリット・デメリットを整理し、令和7年2月より試験導入を行っている。 ※令和7年度より本格導入、
					実績	調査・検討	試験導入				
					進捗状況	○	◎				
	6	行政のデジタル化とDXの実現	市民の利便性の向上や業務の効率化を図るため、問い合わせに対応するチャットボットの導入を検討します。	情報政策課	計画	調査	調査・検討 導入の可否判断	-	-	-	市公式LINEにおいてチャットボット機能の活用について関係課を交えて委託業者と検討を行い、令和7年度よりチャットボット機能を活用することとした。 ※暮らしの便利帳のデータを市公式LINEに取り込み活用する予定。
					実績	調査・検討	調査・検討 導入の可否判断				
					進捗状況	○	○				
	7	行政のデジタル化とDXの実現	市民の利便性の向上や業務の効率化を図るため、子育て関係・介護関係の26手続き以外の申請についても、スマートフォン等を介したオンライン申請が可能な手続きの拡充を検討します。	情報政策課	計画	調査・検討	調査・検討 導入の可否判断	導入業務の拡充	導入業務の拡充	導入業務の拡充	令和6年度にオンライン申請システムを本格導入しており、「職員採用試験の申込」や「マイナンバー受取予約」、「母子健康手帳の来所予約」、「各種アンケート」など様々な業務や手続きをオンライン化した。
					実績	調査・検討	導入				
					進捗状況	○	○				
	8	事務事業の見直し	全庁業務量調査による事務フローの可視化により、業務の手順・手段の見直し、デジタル技術を活用する等業務の効率化を図ります。	情報政策課	計画	調査・検討	全業務の1/3見直し	全業務の1/3見直し	全業務の1/3見直し	-	令和6年度については、施設予約や来所予約等の手続きについてオンライン予約で対応できるよう業務の見直しを行った。 しかし、情報政策課職員と一緒に原課とヒアリング等をし、進めていくため時間的制約もあり全業務の1/3の見直しには至らなかった。
					実績	調査・検討	業務の見直し				
					進捗状況	○	△				

宮古島市第四次集中改革プラン実施計画（令和6年度実績） 総括表

【進捗状況】  
 ◎:実績が計画以上、○:実績が計画どおり  
 △:実績が計画未満、×:実績なし、●:終了

方針	No	主要項目	実施目標	担当部署	プラン	実施計画					進捗状況について
						R5	R6	R7	R8	R9	
行財政運営体制の確立	9	事務事業の見直し	農水産関係補助事業（単独補助金含む）の効果検証を行い、既存事業等の見直し、新たな事業等の創出により、農業・水産業の市内総生産を増額に繋がります。	農政課、畜産課、農村整備課、水産課	計画	調査・検討	既存事業の見直し、新たな事業の創出の実施	既存事業の見直し、新たな事業の創出の実施	既存事業の見直し、新たな事業の創出の実施	既存事業の見直し、新たな事業の創出の実施	令和5年度中まで実施した地力増進事業（トラッシュ還元事業）を見直し、令和6年度は堆肥製造に伴う原材料輸送補助事業、農地地力増進及び循環型農業実証事業を実施。狩俣地区において狩俣自治会の行う堆肥製造施設の建設に伴い支援（補助金交付）を実施。当該年度において施設の建設までを完了しているため、今後は狩俣自治会における散布等を行う組織づくりの支援・協力をしながら堆肥を活用した地域における収量への影響等の調査も行っていく必要がある。その他の事業についても、引き続き補助事業の補助率を再検討するなど見直しを進めていきたい。
					実績	検討	新たな事業の実施				
					進捗状況	△	△				
		事務事業の見直し	農水産関係補助事業（単独補助金含む）の効果検証を行い、既存事業等の見直し、新たな事業等の創出により、農業・水産業の市内総生産を増額に繋がります。	農政課、畜産課、農村整備課、水産課	計画	調査・検討	既存事業の見直し、新たな事業の創出の実施	既存事業の見直し、新たな事業の創出の実施	既存事業の見直し、新たな事業の創出の実施	既存事業の見直し、新たな事業の創出の実施	
	実績				一部実施	一部実施					
	進捗状況				△	△					
	事務事業の見直し	農水産関係補助事業（単独補助金含む）の効果検証を行い、既存事業等の見直し、新たな事業等の創出により、農業・水産業の市内総生産を増額に繋がります。	農政課、畜産課、農村整備課、水産課	計画	調査・検討	既存事業の見直し、新たな事業の創出の実施	既存事業の見直し、新たな事業の創出の実施	既存事業の見直し、新たな事業の創出の実施	既存事業の見直し、新たな事業の創出の実施	農村整備課では、農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮を図るための地域の共同に係る支援や、地域資源の適切な保全管理の推進を図る目的で、多面的機能支払交付金事業を行っている。 本交付金は平良、城辺、下地、上野、伊良部の5地域に交付されており、各地域は交付金を活用し、農道や水路の草刈りや泥上げ、補修等の活動を行っている。 本事業の効果検証は、各組織から提出される活動報告書によって行われており、令和6年度においても概ね良好であった。農村環境の保全管理に必要な事業であることから、次年度も引き続き、本事業を継続していく。	
				実績	調査・検討	実施					
				進捗状況	○	○					
	事務事業の見直し	農水産関係補助事業（単独補助金含む）の効果検証を行い、既存事業等の見直し、新たな事業等の創出により、農業・水産業の市内総生産を増額に繋がります。	農政課、畜産課、農村整備課、水産課	計画	調査・検討	既存事業の見直し、新たな事業の創出の実施	既存事業の見直し、新たな事業の創出の実施	既存事業の見直し、新たな事業の創出の実施	既存事業の見直し、新たな事業の創出の実施		宮古島市水産業振興補助事業において、モズク網購入及び処分する際の費用等の補助により漁業者の負担を抑えることができた。また、製水施設にかかる電気料金の補助を行った。 ○宮古島市水産業振興補助金（予算額 20,989千円） ※補助率は各漁協実施の事業費の1/2以内
				実績	一部実施	実施					
				進捗状況	△	○					

宮古島市第四次集中改革プラン実施計画（令和6年度実績） 総括表

【進捗状況】  
 ◎:実績が計画以上、○:実績が計画どおり  
 △:実績が計画未満、×:実績なし、●:終了

方針	No	主要項目	実施目標	担当部署	プラン	実施計画					進捗状況について
						R5	R6	R7	R8	R9	
行財政運営体制の確立	10	事務事業の見直し	会計手続きの簡素化について調査・検討し、会計事務処理手続きを見直します。	会計課	計画	会計規則の見直し検討	規則改正し、見直し運用の開始	-	-	-	会計規則を改正し、運用を開始した。
					実績	一部実施	実施				
					進捗状況	△	○				
	11	事務事業の見直し	制限付き一般競争入札を導入し、より公平公正な入札を実施します。	契約検査課	計画	調査・検討	格付A及びBへ導入	対象拡大の検討	-	-	計画通り実施済み。
					実績	調査・検討	格付A及びBへ導入				
					進捗状況	○	○				
	12	事務事業の見直し	文書等の発送業務を一元化し、業務の効率化を図ります。	総務課	計画	調査・検討	調査・検討導入の可否判断	-	-	-	情報収集が未着手であり、調査・検討まで達成できなかった。令和7年度は他市町村にも聞き取りを行い、導入の可否について検討していく。
					実績	未実施	未実施				
					進捗状況	×	×				
	13	事務事業の見直し	行政連絡員のあり方について検討し、併せて広報誌の配布の効率化も図ります。	総務課	計画		行政連絡員のあり方について検討（地域懇談会への説明等）	郵送等への移行に向け各種調整作業	郵送開始		行政連絡員のあり方について、庁内において調整を重ねており、地域懇談会への説明には至らなかった。
					実績		未実施				
					進捗状況		△				

宮古島市第四次集中改革プラン実施計画（令和6年度実績） 総括表

【進捗状況】  
 ◎:実績が計画以上、○:実績が計画どおり  
 △:実績が計画未満、×:実績なし、●:終了

方針	No	主要項目	実施目標	担当部署	プラン	実施計画					進捗状況について
						R5	R6	R7	R8	R9	
	14	民間活力の積極的導入	観光客及び市民の利便性向上、財政負担の軽減を図るため、交流更正用地（はりみず公園隣接地）について、民間活力を活かしたPPP手法等の導入を検討します。	港湾課	計画	民間事業者の公募	事業者による整備開始	供用開始	-	-	本事業は、令和5年度の公募によって有限会社丸西が事業者として選定された。令和6年度は、事業者による現地測量調査、埋設物調査、既存構造物の撤去等が行われた。今年度は、金融機関からの融資が実行され次第、整備工事が開始される見込み。
					実績	実施	実施				
					進捗状況	○	○				
	15	民間活力の積極的導入	港湾緑地の質の向上、緑地利用者のサービスの充実、財政負担の軽減を図るため、港湾緑地（ひらりん公園）について、「港湾環境整備計画制度（みなと緑地PPP制度）」を活用します。	港湾課	計画	民間事業者の公募	契約相手方の選定、事業者による整備開始	供用開始	-	-	契約相手方の選定までは完了したが、国有財産の第三者利用申請、補助財産の貸付に係る国土交通大臣同意協議等に時間を要したため、令和6年度中の契約締結に至らなかった。 令和7年度は、港湾法第51条の2第3項の規定に基づき、港湾環境計画の公衆縦覧手続を実施し、事業者との契約締結に向けた手続きを進める。 また、契約締結後は、事業者による設計・整備期間が入るため、供用開始は令和10年頃となる見込みであり、実施計画の変更が必要である。
					実績	実施	実施				
					進捗状況	○	△				
行政運営体制の確立	16	定員管理の適正化	定年延長の影響も踏まえ、令和5年1月に見直した定員適正化計画に沿って適切に実施します。	総務課	計画	690人	688～703人	686～701人	683～698人	681～696人	令和5年度からの地方公務員の定年年齢引き上げの影響により、退職者が減少している状況の中、職員の年齢構成の平準化を図る必要があることに加え、男性育休取得者の増加や休職者の発生による実働可能な職員数が減少しており、目標値より一定程度の増員（15人程度）を容認している状況にある。今後とも計画範囲内の適正人数を確保していく必要がある。
					実績	682人～688人	695				
					進捗状況	○	○				
	17	組織力の向上	実務の指導・監督を担う係長級の研修プログラムを確立し、組織マネジメント力の向上を図ります。	総務課	計画	調査・検討	研修プログラム構築	研修プログラムの実施	-	-	監督職である係長級に求められるリーダーシップ、部下の多様な個性を活かすマネジメント力を養う研修、メンタルヘルス研修を実施した。ソフト面の研修は充実してきたが、業務改善や効率化を図る実務的な研修も定期的に行えないか検討していく。
					実績	調査・検討	構築済				
					進捗状況	○	○				

宮古島市第四次集中改革プラン実施計画（令和6年度実績） 総括表

【進捗状況】  
 ◎:実績が計画以上、○:実績が計画どおり  
 △:実績が計画未満、×:実績なし、●:終了

方針	No	主要項目	実施目標	担当部署	プラン	実施計画					進捗状況について
						R5	R6	R7	R8	R9	
	18	組織力の向上	人事評価制度の有効活用に向けた見直しを行います。	総務課	計画	調査・検討	調査・検討導入の可否判断	-	-	-	法令上、導入が義務付けられていることから、令和7年度中に情報収集や先進自治体へのヒアリング等を行い、方針を固め、労働組合との交渉も始めていきたい。
					実績	検討中	検討中				
					進捗状況	△	△				
行政運営体制の確立	19	組織力の向上	国・県・民間などへ出向・派遣等を実施し、外部組織での知識の習得、実務経験、人脈の構築などを通して、職員個々人の能力の向上を図ります。	総務課	計画	出向・派遣等を実施	出向・派遣等を実施	出向・派遣等を実施	出向・派遣等を実施	出向・派遣等を実施	職員を国、県、民間へ派遣、出向を行っている。 ○沖縄県市町村課 1名 ○沖縄総合事務局平良港湾事務所 1名 ○後期高齢者医療広域連合 1名 ○JTA 1名 ○一般社団法人宮古島千年プラットフォーム 1名
					実績	出向・派遣等	実施				
					進捗状況	○	○				
財政の健全化	20	健全な財政運営	枠配分を含めた効果的・効率的な予算編成手法の検討、それと併せて、物件費の縮減に取り組みます。	財政課	計画	調査・検討	調査・検討導入の可否判断	-	-	-	計画通り実施済み。
					実績	調査・検討	実施済み				
					進捗状況	○	○				
財政の健全化	21	健全な財政運営	財政の透明性を確保するため、公共施設の維持管理に係る収支内訳を公表します。	財政課	計画	公表の実施（令和4年度決算）	公表の実施（令和5年度決算）	公表の実施（令和6年度決算）	公表の実施（令和7年度決算）	公表の実施（令和8年度決算）	令和4年度決算は、令和5年度で改定した公共施設等総合管理計画へ決算統計の数値を記載し公表した。 令和5年度決算は、市での公表ではなく、「政府統計の総合窓口」にて他自治体と併せて公表している。
					実績	令和4年度決算の公表	令和5年度決算の公表				
					進捗状況	○	△				

宮古島市第四次集中改革プラン実施計画（令和6年度実績） 総括表

【進捗状況】  
 ◎:実績が計画以上、○:実績が計画どおり  
 △:実績が計画未満、×:実績なし、●:終了

方針	No	主要項目	実施目標	担当部署	プラン	実施計画					進捗状況について
						R5	R6	R7	R8	R9	
財政の健全化	22	健全な財政運営	下水道事業会計の健全化を図るため、下水道使用料の見直しを検討します。	下水道課	計画	-	下水道使用料 審議会にて検討・審議	審議会答申を受け、見直し後の下水道使用料を適用	-	-	審議会にて検討・審議・市長答申済み。
					実績	-	同審議会にて 検討・審議・市長答申済み。				
					進捗状況	-	○				
	23	健全な財政運営	市管理の防犯灯光熱費を削減し、財政運営の健全化を図ります。 ※令和4年度実績を基準値（約160万円）とし、基準値からの削減率を計画値としています。	地域振興課	計画	25%削減 (120万円)	32%削減 (108.8万円)	39%削減 (97.6万円)	46%削減 (86.4万円)	53%削減 (75.2万円)	増設した防犯灯のうち、R6年度には市管理の防犯灯15基をLED照明に切り替え、また10基の維持・管理を自治会に移管することができたが、R5年度末に増設した防犯灯が40基あったため、結果として光熱費が増加している。R7年度は市管理の防犯灯12基のLED照明への切り替えを予定しており、今後とも光熱費の低減を図る。
					実績	26.2%削減 (118万円)	24%削減 (123万円)				
					進捗状況	◎	△				
	24	市税等徴収率の向上	市税徴収率の向上を図り、自主財源を確保します。	納税課	計画	98.1%	98.2%	98.3%	98.4%	98.5%	計画通りに差押執行が進まず、滞納整理に遅れが生じたため、現年度分は前年度を0.2%上回ったが、合計値で0.1%下回った。 改善策として、滞納整理全体の進行管理、個々の事案の進行管理の体制を整え、年間スケジュールを作成し、進捗状況を確認する。
					実績	97.8%	97.70%				
					進捗状況	△	△				
	25	新たな財源の確保	宿泊税の導入に向けて取り組みます。	観光商工課	計画	調査・検討	宿泊税に係る 条例案の議会 提案	宿泊税制度に 関する広報・ 周知	宿泊税徴収開 始予定	-	R6年度3月定例会へ沖縄県及び独自導入予定の5市町村（宮古島市・石垣市・恩納村・北谷町・本部町）にて同時に条例案を議会提出する予定で進めていたが、県が議会提出を見送ったため、本市含めた5市町村も見送らざるを得ず、R6年度中の計画として掲げていた議会提出は未実施となった。 その後、R7年度6月定例会への議案提出を目指し県と調整を行っていたが、4月末に県知事により普通税でも検討する旨が公表された。5月に5市町村と沖縄ツーリズム産業団体にて、これまで議論を重ねてきた目的税での上程を県へ要請したが、6月定例会への議案提出も見送られた。現在は、9月定例会への提出に向け、県と対話を重ねている状況。
					実績	調査・検討	未実施				
					進捗状況	○	△				

宮古島市第四次集中改革プラン実施計画（令和6年度実績） 総括表

【進捗状況】  
 ◎:実績が計画以上、○:実績が計画どおり  
 △:実績が計画未満、×:実績なし、●:終了

方針	No	主要項目	実施目標	担当部署	プラン	実施計画					進捗状況について
						R5	R6	R7	R8	R9	
	26	新たな財源の確保	公用車等に広告を掲載し、広告収入を確保します。	財政課	計画	-	実施方法の検討	広告の公募、実施	広告の公募、実施	広告の公募、実施	計画通り実施済み。
					実績	-	実施済み				
					進捗状況	-	○				
	27	施設管理の見直し	旧平良庁舎の利活用を進め、財政負担の軽減と、地域の賑わいの創出を図ります。	財政課	計画	優先交渉者との基本協定締結	運営権に関する条例制定改修工事着工	供用開始	モニタリング	モニタリング	運営権設定の議決（R6年12月）、実施契約（R7年2月）は令和6年度で行ったが、建築基準法上の建物用途変更時間に時間を要し、改修工事の開始はR7年度となった。
					実績	優先交渉権者と基本協定書締結	運営権設定の議決				
					進捗状況	○	△				
財政の健全化	28	施設管理の見直し	下地庁舎の利活用を進め、財政負担の軽減と、地域の賑わいの創出を図ります。	財政課	計画	-	サウンディング実施	サウンディングの結果に伴う取り組み	サウンディングの結果に伴う取り組み	サウンディングの結果に伴う取り組み	下地庁舎は、1階に「NPO法人ハートフルふきあげ」、「一般社団法人宮古島市ひとり親家庭福祉会」、「エコアイランド推進課・宮古島千年プラットホーム」、「(株)石勝エクステリア」、「(株)川田電設産業」の5者が利用しています。2階は、「一般社団法人宮古島観光協会」、「NPO法人宮古地区手をつなぐ育成会」、「宮古保護区保護司会」の3者が利用しており、また、「公益社団法人宮古島市シルバー人材センター」が利用を予定しております。当庁舎の区画はほぼ埋まっており、サウンディングを実施せずとも利活用は行われている状況です。
					実績	-	未実施				
					進捗状況	-	×				
財政の健全化	29	施設管理の見直し	城辺庁舎の利活用を進め、財政負担の軽減と、地域の賑わいの創出を図ります。	財政課	計画	-	サウンディング実施	サウンディングの結果に伴う取り組み	サウンディングの結果に伴う取り組み	サウンディングの結果に伴う取り組み	城辺庁舎の1階は財政課管理となっており、1階半分は「市民課・城辺出張所及び風水害避難場所」、残り半分は高齢者支援課事業の「宮古島市社協小規模多機能型居宅介護事業所きやーぎ」が利用の予定であり、サウンディングは実施していないが、利活用は進んでいる状況です。2階は観光商工課の管理となっております。
					実績	-	未実施				
					進捗状況	-	×				

宮古島市第四次集中改革プラン実施計画（令和6年度実績） 総括表

【進捗状況】  
 ◎:実績が計画以上、○:実績が計画どおり  
 △:実績が計画未満、×:実績なし、●:終了

方針	No	主要項目	実施目標	担当部署	プラン	実施計画					進捗状況について
						R5	R6	R7	R8	R9	
財政の健全化	30	施設管理の見直し	伊良部庁舎跡地の利活用を進め、財政負担の軽減と、地域の賑わいの創出を図ります。	財政課	計画	-	サウンディング実施	サウンディングの結果に伴う取り組み	サウンディングの結果に伴う取り組み	サウンディングの結果に伴う取り組み	令和6年度の伊良部庁舎跡地の利活用に関しては、定住促進の観点から地域振興課にてサウンディングを実施したが、地域の要望としては関心は薄い状況であったため、令和7年度も引き続きサウンディングを行っていく必要がある。 ※当業務は今後、財政課で進める若しくは行政経営課へ移管するか検討していく。
					実績	-	サウンディング実施				
					進捗状況	-	△				
	31	施設管理の見直し	旧中央公民館の利活用を進め、財政負担の軽減と、地域の賑わいの創出を図ります。	財政課	計画	-	サウンディング実施	サウンディングの結果に伴う取り組み	サウンディングの結果に伴う取り組み	サウンディングの結果に伴う取り組み	サウンディングの募集は令和6年度に開始したが、サウンディングの実施は、R7年4月で実施、R7年5月で結果の公表となった。
					実績	-	サウンディング実施案内				
					進捗状況	-	△				
	32	施設管理の見直し	閉校学校施設について、個別計画に沿って利活用を進めてまいります。	教育総務課	計画	来間小中学校、伊良部中学校、福嶺中学校の利活用	来間小中学校、伊良部幼稚園・伊良部小学校、伊良部中学校、佐良浜小学校、福嶺中学校の利活用	伊良部幼稚園・伊良部小学校、佐良浜小学校の利活用	-	-	<ul style="list-style-type: none"> <li>旧来間小中学校：△ ⇒来間部落会と活用案の計画立案の調整を進めており、今後、部落会より計画書の提出が予定されている。</li> <li>旧伊良部中学校：△ ⇒同校用地内にある個人有地（3筆）の解消に向け取り組んでいる。</li> <li>旧佐良浜小学校：△ ⇒市長公約の「福祉の森構想」について福祉部とこども家庭局が事業を進めている。</li> <li>旧福嶺中学校：△ ⇒令和7年3月定例会で「訴えの提起」が可決された。今後顧問弁護士と契約を行い、令和8年度中に利活用に向け取り組む。</li> <li>旧伊良部小学校：× ⇒体育館部分に個人有地1筆あるので解消に向け取り組む。</li> </ul> ※令和7年度の組織改編により、上記施設の利活用は行政経営課へ引き継がれているが、施設の管理は引き続き教育施設課で行っているため、担当部署の分割・変更が必要と思われる。
					実績	0	利活用に向けた用地の整理				
					進捗状況	△	△				
	33	施設管理の見直し	市営住宅空室の有効活用を図ります。	建築課	計画	有効活用に向けた取り組み事項の検討	活用開始	有効活用の継続	有効活用の継続	有効活用の継続	市営住宅空室の有効活用の取り組み事項として、公営住宅の地域対応活用計画において、目的外使用の承認をいただいた、市営住宅（地域対応活用住宅）10戸について、若者の定住促進を図るため公募を行い、10戸中8戸入居していただいております。
					実績	検討	活用開始				
					進捗状況	○	○				

# 宮古島市第四次集中改革プラン実施計画（令和6年度実績） 総括表

【進捗状況】  
 ◎:実績が計画以上、○:実績が計画どおり  
 △:実績が計画未満、×:実績なし、●:終了

方針	No	主要項目	実施目標	担当部署	プラン	実施計画					進捗状況について
						R5	R6	R7	R8	R9	
	34	施設管理の見直し	民間資金等を活用したPark-PFI（公募設置管理制度）を導入し、公園の質の向上、公園利用者の利便の向上を図ります。	都市計画課	計画	-	調査・検討	サウンディング実施	みどりの基本計画の策定（管理方針（Park-PFI含む）の位置付け）	Park-PFI（公募設置管理制度）の公募	計画通り実施済み。
					実績	-	調査・検討				
					進捗状況	-	○				